

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M212R401	母性看護学実習 (Clinical Practice of Maternal Nursing)	専門教育科目 母性看護学

必修選択	単位	対象年次	学期	担当教員
必修	2	4	前	猪俣 理恵・小柳 麻央 内線：5072 E-mail：rie-inomata@

【授業の概要・到達目標】

子どもを産み・育てる過程や、生殖器疾患を有する女性や家族との関わりを通して対象を理解し、周産期に特徴的な看護技術を習得するとともに、人生の移行過程に沿った個別性のある看護を考え、実践・評価するという一連の看護を展開できる。

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. 病棟実習では、対象を1名(母子の場合は1組)受け持ち、全体像を述べる ことができる。	○	○					
2. 対象への個別性のある看護計画を一部でも立案し、実践、報告、評価を行う ことができる。			○	○			
3. 妊娠期から産褥期、新生児期における一連の看護および地域との連携を見学 し、包括的母性看護実践の展開について述べる ことができる。				○	○		
4. カンファレンスを通して看護実践を振り返り、積極的に意見交換に参加し他 者と学びを共有する中で、自己の課題を言語化できる。		○	○				

【授業の内容】

実習期間：2週間

実習内容：オリエンテーション(0.5日)

大分大学医学部付属病院・病棟実習(4.5～5日)、NICU/GCU実習(2日)、母親学級見学
生野助産院実習(2日)

【アクティブラーニング(D：知識の活用・創造)において学生がより深く学ぶための工夫】

- 事前学習や技術練習が行えるよう母性・小児実習室を学生の要望に応じて開放し、必要があれば指導に入る。
- 病棟実習でのグループワークやテーマカンファレンスを通して、母性看護実践の学びや課題を明らかにし、看護の本質を追求できるよう支援する。

準備学修	実習開始までに、事前学習課題(Moodleに提示)に取り組み、母性看護学に必要な知識・技術の復習を行う(5h)。
事後学修	受け持つ対象者の身体的・心理的側面を理解するために必要な知識・技術の学習とともに、日々の看護計画の立案、実践、評価を行う(15h)。

【時間外学修の内容と時間の目安】

※分娩時の看護(見学実習)を希望する場合、時間外実習(夜間も有り)も想定し実習に臨んでほしい。

【教科書】

中込さと子 他【編】(2022)：ナシググラフィ 母性看護学① 母性看護学概論・リプロダクティブヘルスと看護 メディカ出版

中込さと子 他【編】(2022)：ナシググラフィ 母性看護学② 母性看護の実践 メディカ出版

苛原稔 他【編】(2022)：ナシググラフィ EX 疾患と看護⑨ 女性生殖器 メディカ出版

医療情報科学研究所【編】(2018)：病気がみえる vol.9 婦人科・乳腺外科、第4版、メディックメディア

医療情報科学研究所【編】(2018)：病気がみえる vol.10 産科、第4版、メディックメディア

【参考書】母性・小児実習室に参考書(貸出可能)を用意している。その他、適宜紹介する。

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4
実習記録・看護実践の評価	65%	○	○	○	
学習意欲・態度の評価	35%	○	○	○	○

【注意事項】実習終了翌月曜日の指定時間までに実習記録・自己評価表を提出する。

【備考】学外施設(助産院)までの交通費は自己負担となる。

担当教員の実務経験の有無	有	
教員の実務経験	猪俣理恵（看護師・助産師）、小柳麻央（看護師・助産師）	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	有	
教員以外の指導に関わる実務経験者	助産師、看護師、看護助手	
実務経験をいかした教育内容	母性看護実習の臨地指導および母性看護過程の展開を指導する。	
授業形態	面接授業	